

第4章 ICT活用工事 第1 土工

正	誤																
<p>(2) システム初期費 ICT建設機械に取り付ける各種機器の賃貸業者が行う施工者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 ・対象建設機械：バックホウ（クローラ型）山積0.8m3 費用：598,000円/式 ・対象建設機械：バックホウ（クローラ型）山積0.45m3 費用：ICT建設機械経費損料加算額に含む。</p> <p>(3) 3次元出来形管理・3次元データの納品及び外注経費等にかかる経費 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点以下第3位四捨五入2位止め ただし、バックホウ（クローラ型）山積0.45m3を適用する場合における経費は、見積等を活用し共通仮設費及び現場管理費に計上するものとする。 なお、本補正係数により計上する経費は、以下の①から⑥による出来形管理又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測を行う場合の経費であり、それ以外の出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 ①空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 ②地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ③無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ④地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ⑤モバイル端末を用いた出来形管理（土工量1,000m3未満の現場に限る） ⑥上記①～⑤に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>1-2 路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT） 1-2-1 適用範囲 【R5国版P-1330】 土工（ICT）における路体（築堤）盛土及び路床盛土の積算にあたっては「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」1章 土工 ③土工（ICT）を適用する。</p> <p>1-2-2 機械経費 路体（築堤）盛土（ICT）及び路床盛土（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ICT建設機械名</th> <th>規格</th> <th>機械経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ブルドーザ</td> <td>湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級</td> <td>賃料にて計上</td> </tr> <tr> <td>湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級</td> <td>賃料にて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地上の基準局・管理局以外の賃貸費用を含む。</p>	ICT建設機械名	規格	機械経費	ブルドーザ	湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級	賃料にて計上	湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級	賃料にて計上	<p>(2) システム初期費 ICT建設機械に取り付ける各種機器の賃貸業者が行う施工者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。 ・対象建設機械：バックホウ（クローラ型）山積0.8m3 費用：598,000円/式 ・対象建設機械：バックホウ（クローラ型）山積0.45m3 費用：ICT建設機械経費損料加算額に含む。</p> <p>(3) 3次元出来形管理・3次元データの納品及び外注経費等にかかる経費 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 ※小数点以下第3位四捨五入2位止め ただし、バックホウ（クローラ型）山積0.45m3を適用する場合における経費は、見積等を活用し共通仮設費及び現場管理費に計上するものとする。 なお、本補正係数により計上する経費は、以下の①から⑥による出来形管理又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測を行う場合の経費であり、それ以外の出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 ①空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 ②地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ③無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ④地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ⑤モバイル端末を用いた出来形管理（土工量1,000m3未満の現場に限る） ⑥上記①～⑤に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>1-2 路体（築堤）盛土（ICT）、路床盛土（ICT） 1-2-1 適用範囲 【R5国版P-1330】 土工（ICT）における路体（築堤）盛土及び路床盛土の積算にあたっては「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準」1章 土工 ③土工（ICT）を適用する。</p> <p>1-2-2 機械経費 路体（築堤）盛土（ICT）及び路床盛土（ICT）の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ICT建設機械名</th> <th>規格</th> <th>機械経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ブルドーザ</td> <td>湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級</td> <td>賃料にて計上</td> </tr> <tr> <td>湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級</td> <td>賃料にて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地上の基準局・管理局以外の賃貸費用を含む。</p>	ICT建設機械名	規格	機械経費	ブルドーザ	湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級	賃料にて計上	湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級	賃料にて計上
ICT建設機械名	規格	機械経費															
ブルドーザ	湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級	賃料にて計上															
	湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級	賃料にて計上															
ICT建設機械名	規格	機械経費															
ブルドーザ	湿地・ICT施工対応型・排出ガス対策型（2011年規制） 7t級	賃料にて計上															
	湿地・ICT施工対策型・排出ガス対策型（2011年規制） 16t級	賃料にて計上															

第4章 ICT活用工事 第1 土工

正	誤
<p>1-2-3 ICT建設機械経費加算額</p> <p>(1) 賃料加算額</p> <p>ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とする。 なお、加算額は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建設機械：ブルドーザ（ICT施工対応型） 賃料加算額：13,000円/日 <p>1-2-4 その他</p> <p>(1) 保守点検費</p> <p>ICT建設機械の保守点検費に要する費用は、次式による。</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.07(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量 (m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)}}$ <p>(注1) 作業日当り標準作業量は、施工パッケージ型積算基準第11章その他②作業日当たり標準作業量のICT標準作業量による。 (注2) 施工数量は、ICT建設機械による施工の数量とする。</p> <p>(2) システム初期費</p> <p>ICT建設機械に取り付ける各種機器の賃貸業者が行う施工者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建設機械：ブルドーザ 費用：<u>548,000</u>円/式 <p>(3) 3次元出来形管理・3次元データの納品及び外注経費等にかかる経費</p> <p>3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 <p>※小数点以下第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、本補正係数により計上する経費は、以下の①から⑤による出来形管理又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測を行う場合の経費であり、それ以外の出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 ②地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ③無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ④地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ⑤上記①～④に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 	<p>1-2-3 ICT建設機械経費加算額</p> <p>(1) 賃料加算額</p> <p>ICT建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とする。 なお、加算額は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建設機械：ブルドーザ（ICT施工対応型） 賃料加算額：13,000円/日 <p>1-2-4 その他</p> <p>(1) 保守点検費</p> <p>ICT建設機械の保守点検費に要する費用は、次式による。</p> $\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.07(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量 (m3)}}{\text{作業日当り標準作業量 (m3/日)}}$ <p>(注1) 作業日当り標準作業量は、施工パッケージ型積算基準第11章その他②作業日当たり標準作業量のICT標準作業量による。 (注2) 施工数量は、ICT建設機械による施工の数量とする。</p> <p>(2) システム初期費</p> <p>ICT建設機械に取り付ける各種機器の賃貸業者が行う施工者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建設機械：ブルドーザ 費用：<u>548,0000</u>円/式 <p>(3) 3次元出来形管理・3次元データの納品及び外注経費等にかかる経費</p> <p>3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 <p>※小数点以下第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、本補正係数により計上する経費は、以下の①から⑤による出来形管理又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測を行う場合の経費であり、それ以外の出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 ②地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ③無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ④地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ⑤上記①～④に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理